

Corporate Profile

セイコーエプソン株式会社 会社案内

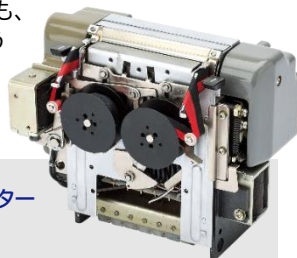
商 号	セイコーエプソン株式会社
設 立	1942年5月18日
本 社	長野県諏訪市大和三丁目3番5号
資本金	532億400万円

「EPSON」の由来

EP + SON = 「EPSON」

「EPSON」というブランド名称は、事業領域を広げる発端となった「EP-101」が由来です。

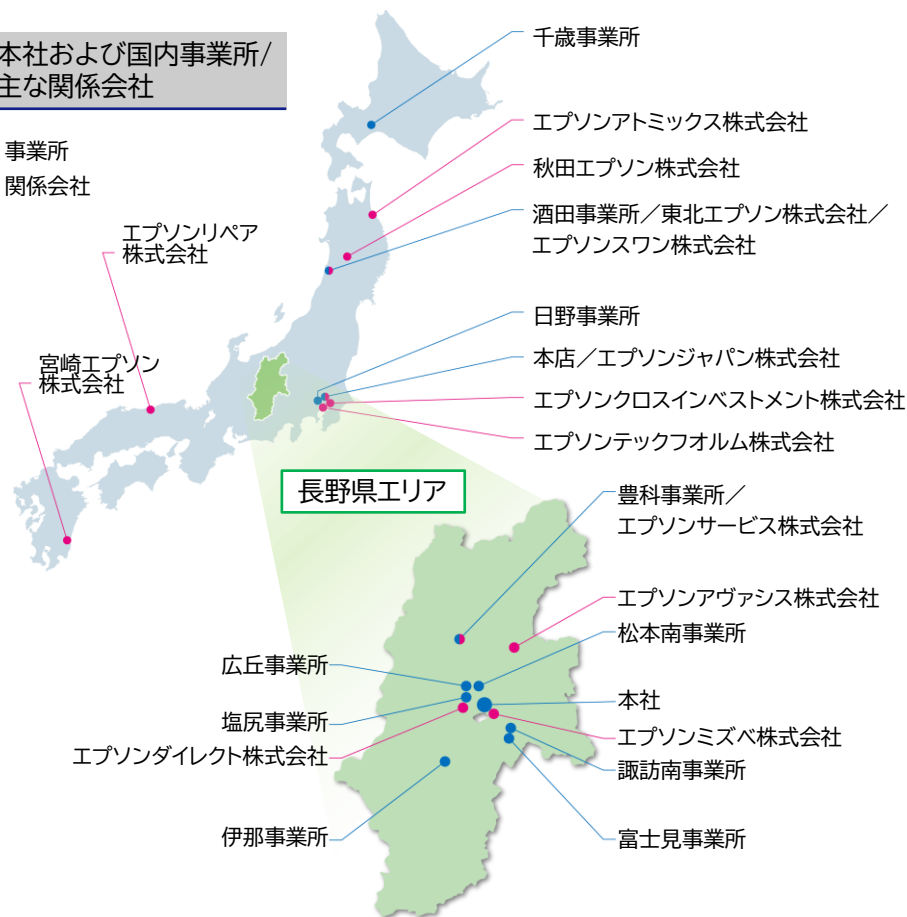
「EP(Electric Printer)」が新しい価値をお客様に提供したように、さまざまな分野で、価値ある製品・サービスである子ども、「SON」を多く生み出し続けていこうという思いが込められています。



世界初の小型軽量デジタルプリンター「EP-101」

本社および国内事業所/主な関係会社

- 事業所
- 関係会社



ENGINEERED FUTURE 2035

技術を進化させ、未来を最適に設計し、価値を社会実装する企業へ

いま、社会や産業を取り巻く前提そのものが、大きく変わろうとしています。

地政学リスクの高まり、エネルギーや資源の制約、気候変動や環境負荷への対応、そして人口動態の変化に伴う世界的な人手不足。こうした構造的な変化は、社会や産業のあり方に大きな変革をもたらしつつあります。

エプソンは、2035年を見据えた長期ビジョン「ENGINEERED FUTURE 2035」を策定しました。「省・小・精」の技術・思想を基盤に、テクノロジーイノベーションとエンジニアリングによって持続可能な地球環境と社会の実現、そして企業価値の向上を両輪で回していく——その方向性を示すものです。

創業以来、エプソンは「省・小・精」の技術を磨き、インクジェットプリンターやプロジェクターなど、多くの製品を生み出してきました。自らの技術を社会に役立つ価値へと高めていく力こそが、私たちの強みです。その強みを生かし、エプソンは未来を設計する企業へと進化していきます。

長期ビジョンの実現に向けて、ROIC経営をさらに深化させるとともに、事業ポートフォリオの再設計と成長領域への資源集中を進め、持続的な成長の実現を目指します。

エネルギーや資源に制約がある時代において、より少ない資源で価値を生み出す社会を支える。テクノロジーの進化を、精密技術によって支える。人手不足が進む世界では、生産性と信頼性を高める。そして、学び・働き・暮らしの質の向上に貢献する。

2035年に向け、エプソンは「誠実努力」「創造と挑戦」の価値観のもと、社員やパートナーとともに新しい価値創造に挑み続けてまいります。



セイコーエプソン株式会社
代表取締役社長

吉田 潤吉

創業以来、独自の技術により新たな価値を創り、人々の生活を変えてきました。



1942年

始まりは
“時計”
の製造から



世界初のクォーツウォッチ

1969年

正確な時間を
人々の日常に

当時

機械式腕時計は
一日に何秒もずれるのが
当たり前



インクジェットプリンター



液晶データプロジェクター

1994年

家庭でも気軽に
写真印刷を

当時

写真印刷は
写真店で

プレゼンテーション
の方法を革新

当時

紙またはOHP*
を使って説明



オフィスでの省電力に貢献する
高速ラインインクジェット複合機



紙をその場で再生する
乾式オフィス製紙機

2010年～現在

お客様の期待を超える
新たな価値創出へ



自動化の加速に貢献する
スカルロボット



アナログ染色の環境負荷低減を実現する
インクジェットデジタル染色機

* OHP : Overhead projector. 透明シートに記載されたテキストや図表をスクリーンに拡大投影する機器

売上収益(連結)
(2025年度)

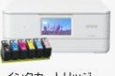
14,133億円

事業利益
(2025年度)

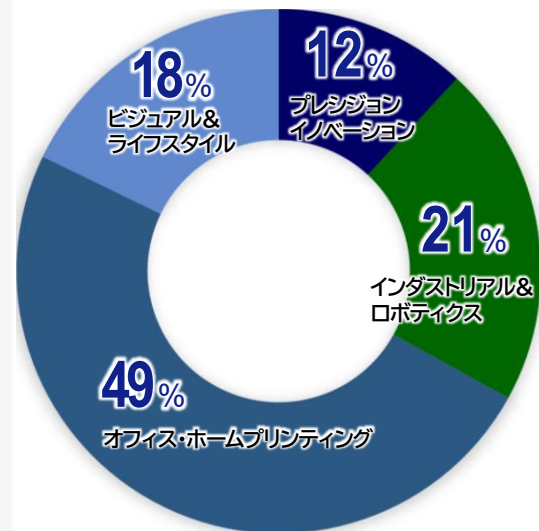
838億円

※事業利益は売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しており、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念

エプソンの事業セグメント

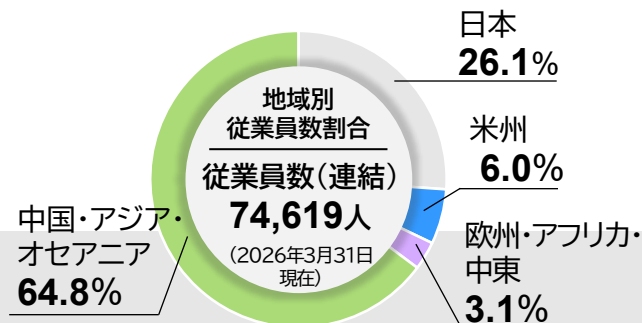
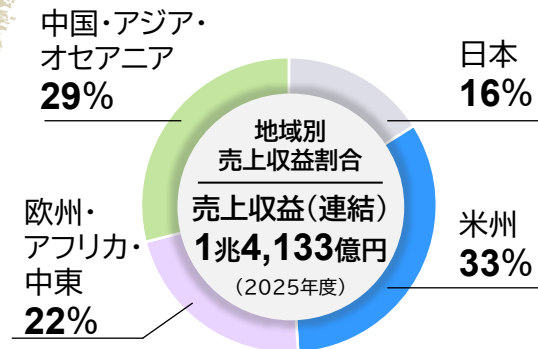
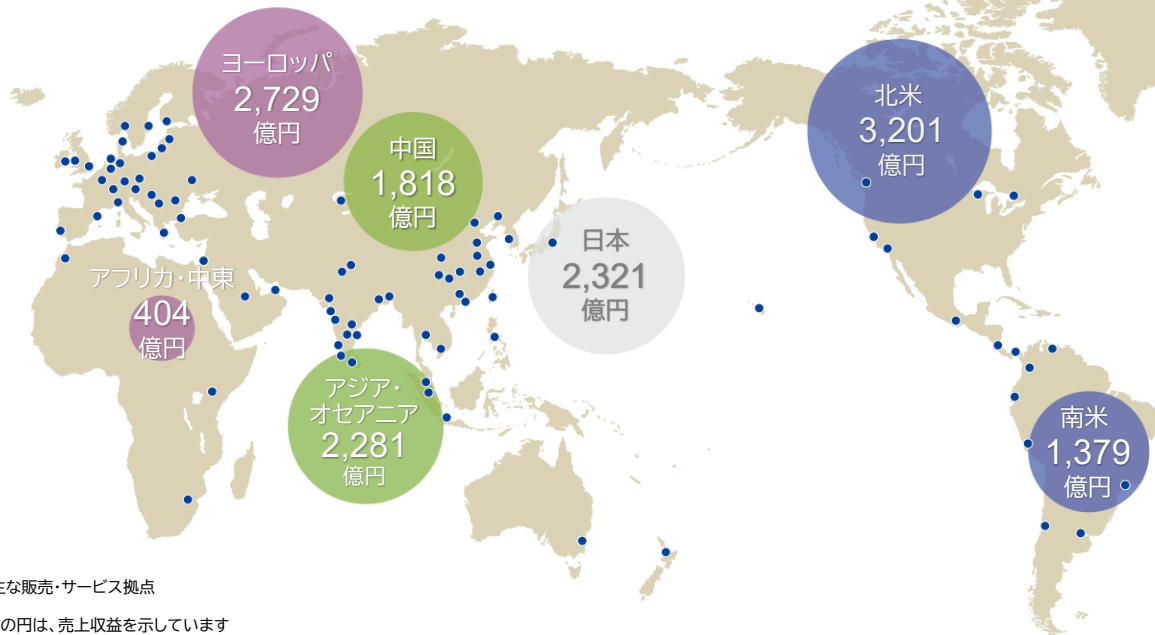
セグメント	プレジジョンイノベーション	インダストリアル&ロボティクス	オフィス・ホームプリンティング	ビジュアル&ライフスタイル
事業 ・ 主要製品	インクジェットソリューションズ  プリントヘッド	商業・産業プリンティング 完成品  フォト  コーボレート  サイネージ  ラベルプリンター  テキスタイル  ラベル印刷機	オフィス・ホームIJP SOHO・ホーム  大容量インクタンクモデル  インクカートリッジモデル オフィス共有  大容量インクタンクモデル (RIPS)  高速ラインインクジェット複合機 (LII)  オフィス向けインクカートリッジモデル	ビジュアルプロダクツ  高光束  超短焦点  スタンダード  ホーム・スマート
	マイクロデバイス 水晶デバイス  タイミングデバイス  センシングデバイス	Fiery 商業・産業その他  Fiery 小型プリンター  SIDM  PaperLab	オフィス・ホームその他  イマジャー  小型ラベルプリンター	ウェアラブルプロダクツ  Orient Star Orient  ムーブメント  セイコービジネス
	エプソントミックス  微細金属粉末	ロボティクス  スカラ  6軸  ソフト・オプション		PC  エプソントイレクトPC

事業セグメント別 売上収益構成比 (2025年度)





さまざまなお客様ニーズを的確に把握し、素早く、柔軟に対応すべく、
開発・生産拠点をはじめ、販売・サービス拠点を世界各地に展開しています。



※構成比は小数点以下第1位を四捨五入



エプソングループ会社数 (2026年3月31日現在)

88社(当社含む) 国内 19社、海外 69社

経営理念

お客様を大切に、地球を友に、
個性を尊重し、総合力を発揮して
世界の人々に信頼され、社会とともに発展する
開かれた、なくてはならない会社でありたい。
そして社員が自信を持ち、
常に創造し挑戦していることを誇りとしたい。

EXCEED YOUR VISION

私たちエプソン社員は、
常に自らの常識やビジョンを超えて挑戦し、
お客様に驚きや感動をもたらす
成果を生み出します。

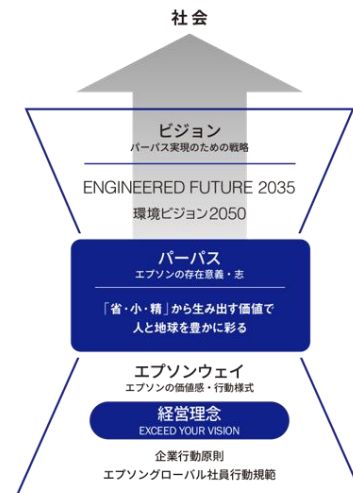
私たちのパーパス

Our philosophy of efficient, compact and precise innovation
enriches lives and helps create a better world.

「省・小・精」から生み出す価値で、人と地球を豊かに彩る

エプソンは、豊かな自然や文化に恵まれた信州で誕生しました。
そんな私たちが抱き続けてきたもの、
それは「省・小・精」の技術で、人々の暮らしを豊かにしたいという想い、
そして、自然の豊かさを守り、未来へつないでいきたいという強い想いです。
これまで世界に先駆けてフロンを撤廃するなど、つねに社会課題に目を向け、
誠実に取り組んできました。
そのなかで追求してきたエプソン独自の「省・小・精」。
大きいこと、量が多いことだけが豊かさではない。
省くこと、小さくすること、精緻さを突き詰めること、
これこそが、自然環境にやさしく、人々のこころを豊かにできるものだと思っています。
「省・小・精」から生み出す、より大きな価値で、人と地球を豊かに彩っていきたい。
私たちは、そんな想いを実現していきます。

エプソンのあらゆる企業活動の中心にはパーパスがあります。このパーパス『省・小・精』から生み出す価値で人と地球を豊かに彩る』は、エプソンが社会に対してどのような価値を提供する存在であるかを定めるとともに、エプソンならではの存在意義と志を社内外に示すため、2022年9月に制定されました。そして、エプソンは、グループの価値観・行動様式を定めた「エプソンウェイ」の普遍的な考え方である経営理念を礎とし、ビジョンによりパーパスを実現することで社会へと新しい価値を提供します。これにより、将来にわたって持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図ってまいります。





ENGINEERED FUTURE 2035

技術を進化させ、未来を最適に設計し、価値を社会実装する企業へ。

いま、地球環境、エネルギー、資源、人材、地政学リスクなど、
社会や産業を支えてきた構造そのものが大きく変わる転換点にあります。
成長のあり方は多様化し、地域や分野によって求められる解も異なる時代。
そのとき必要なのは、状況に応じた最適な答えです。

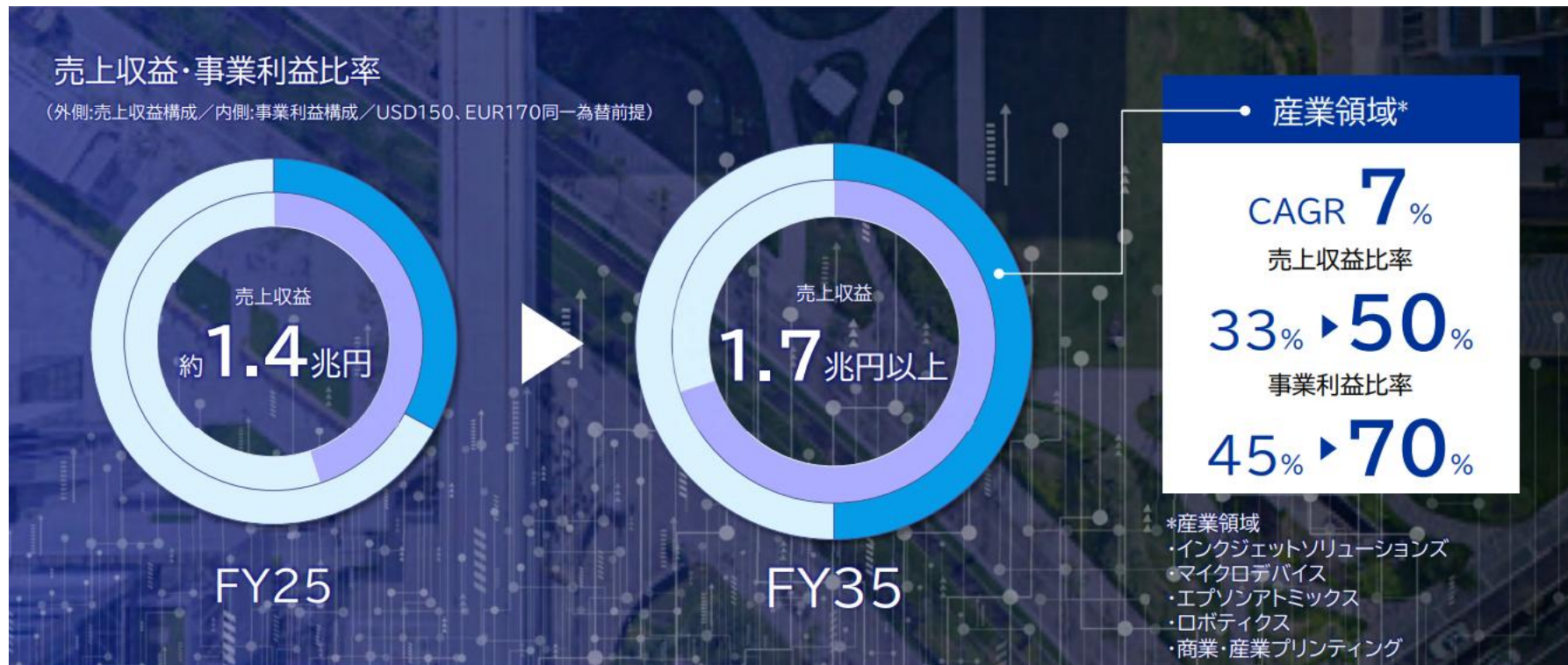
エプソンは「省・小・精」の技術・思想を基盤として、
精密技術と現場で培った知見を掛け合わせ、最適解を産業と社会に実装していきます。

産業の生産性と信頼性を高め、持続可能な成長を実現する。
学び・働き・暮らしに新たな価値を創出し可能性を広げていく。
人と地球がともに前に進み続けられるよう、社会価値と企業価値を同時に高めていく
——それが、エプソンの描く“ENGINEERED FUTURE 2035”です。

技術×エンジニアリング×現場の力で、価値を創出します。



既存事業のビジネスモデル変革と、成長領域への積極投資を両立させながら、売上規模を拡大しつつ、利益構造を大きく転換していきます。



ビジョン実現にあたって、10年間で三つのPhaseに分けました。

Phase1では、TRANSFORMの段階と定め、成長に向けた事業基盤の変革・構築をしていきます。



Phase1では、収益基盤の変革と、成長領域への資源集中投下を実行します。

2028年度目標

ROIC **8**%

収益基盤の変革

効率化

- ROICを規律にした優先順位付け
- 固定費の圧縮

販売

- 既存事業の競争力強化と収益モデルの変革

成長領域への資源集中投下

投資配分

- 戦略分野への投資加速
- コア技術の競争優位性を高める

成長領域への資源集中投下によって、
生み出す製品やサービスの価値をさらに高めていきます。

セグメント	プレジジョン イノベーション	インダストリアル& ロボティクス	オフィス・ホーム プリンティング	ビジュアル& ライフスタイル
事業	・インクジェットソリューションズ ・マイクロデバイス ・エプソンアトミックス	・商業・産業プリンティング ・ロボティクス	・オフィス・ホームIJP	・ビジュアルプロダクツ ・ウェアラブルプロダクツ ・PC
位置づけ	成長エンジン	Phase2での 本格成長	収益基盤	収益基盤

インクジェット資産への投資と活用・組織能力

共通活用

ブランド・製造/販売ネットワーク・組織能力

マテリアリティ

エネルギー・資源の効率化を支える

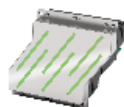
精密技術でテクノロジーの
進化を支える

生産性と信頼性で
人手不足に応える

学び・働き・暮らしを支える

「省・小・精」の独創技術でモノづくりの変革と技術イノベーションを推進し、産業・データ社会の進化、信頼性向上、エネルギー課題の解決に貢献します。

インクジェットソリューションズ



プリントヘッド

マイクロデバイス

水晶デバイス



タイミング
デバイス



センシング
デバイス

半導体



エプソンアトミックス



微細合金粉末

エネルギー・
資源の効率化
を支える

ペロブスカイト
太陽電池



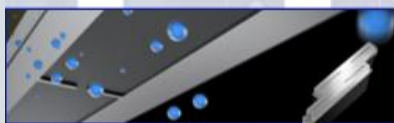
半導体製造プロ
セスの革新



新たな資源循環
プロセス



精密な吐出・新材料や
新プロセスへの対応力



インクジェット・MEMS技術

高性能金属原料
へのアップサイクル



金属資源
再生技術

精密技術で
テクノロジーの
進化を支える

データセンター
AIサーバー



スマートフォン
EV・ロボット

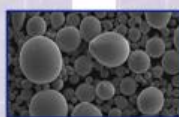


超高速
大容量通信



タイミング
デバイス

高効率
エネルギー伝達



高性能金属粉末

人手不足や環境負荷低減の社会課題を起点に、デジタル印刷/製造・ロボティクス技術の社会実装を通じ、現場の生産性と信頼性を向上します。

商業・産業プリンティング

完成品



フォト



コーポレート



サイネージ



テキスタイル



ラベル印刷機

商業・産業その他



小型プリンター



SIDM



PaperLab

Fiery



ロボティクス



スカラ



6軸



ソフト・オプション

生産性と信頼性で
人手不足に応える

リテール
製造・食品



高速・高精度な
サーボ制御



ロボティクス

サイネージ
生産など



高速印刷・
高画質の両立



インクジェット

仕事と家庭における情報活用の効率化や学びの高度化、生産性の向上に貢献し、
人々の生活と仕事を支えます。

オフィス・ホームIJP

SOHO・ホーム

オフィス共有



大容量インクタンク
モデル



高速
ラインインクジェット
複合機 (LIJ)



インクカートリッジ
モデル



大容量インクパックモデル
(RIPS)



オフィス向け
インクカートリッジモデル

オフィス・ホームその他



スキャナー



小型ラベルプリンター

学び・働き・暮らし
を支える

教育・自治体
リテールなど



高い市場シェア
と顧客接点



プリンティング

人々の学び・働き・暮らしを、体験価値の深化や、学びへのアクセス拡大を通じた知識と機会の格差縮小、人・モノ・情報・サービスのつながる価値の創出で、より豊かにします。

ビジュアルプロダクツ



高光束



超短焦点



スタンダード



ホーム・スマート

ウェアラブルプロダクツ

Orient Star
Orient



ムーブメント



セイコービジネス



PC



エプソンダイレクトPC

学び・働き・暮らし
を支える

教育・自治体
リテールなど



高い市場シェア
と顧客接点



プロジェクション

長期ビジョンの実現に向けて、社会課題解決と企業価値向上の両立に取り組みます。



持続的成長を支える人的資本の強化と、グローバル組織の再設計を進めます。

エプソングループ従業員*

約 **75,000**人

海外55,000人
国内20,000人

*2025年12月時点

成長領域の取り組みを加速

収益基盤領域を進化



技術横断コア人材の強化



グローバルでの知の共有と
迅速な仮説検証



エンジニアリング人材
の強化と活躍領域拡大



グローバル組織・
人材基盤の活用高度化



機動性を実現する組織と
人が育つ役割・裁量再設計



専門人材の育成・活用

共通
基盤

リーダーシップ

・不確実性下で構想し、制約下で実行できるリーダー育成

DE&I

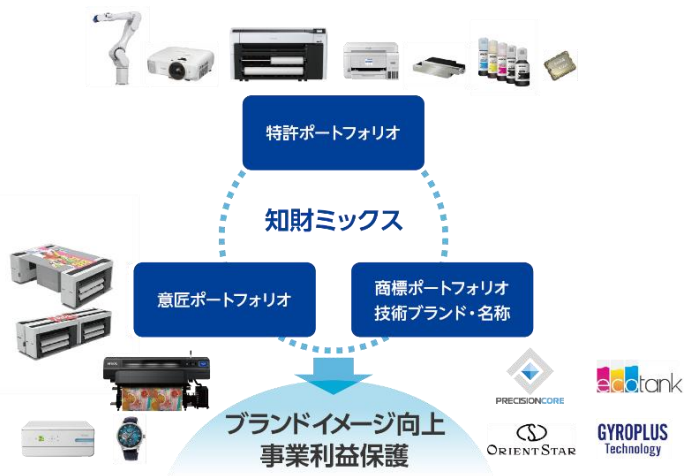
・多様性を価値に変える

共通する価値観

・誠実・努力 創造と挑戦 エンジニアリングマインド



特許に加え、デザインを意匠で、コア技術の名称を商標で、保護する知財ミックス戦略を展開。戦略を進める上で重要な資産である独自のコア技術を圧倒的な特許件数で保護しています。



価値を生み出すコア技術、独創のデザイン、これらをブランド化した商標を確実に保護するポートフォリオを構築。
これにより、自社ブランドの優位性を維持向上させ、安定した事業運営を継続を可能にしています。

● 分野別特許登録件数ランキング

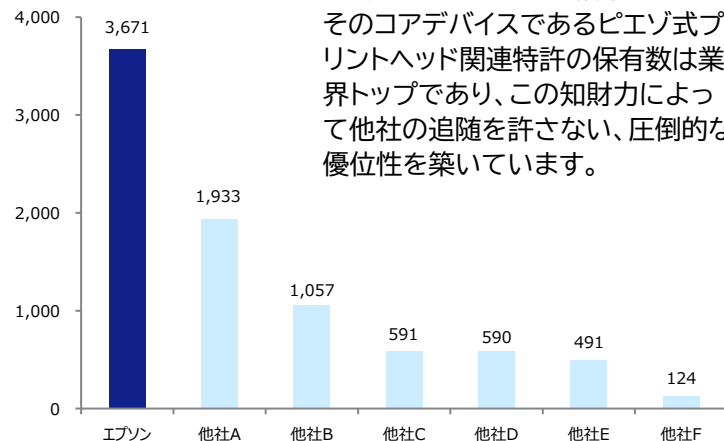
日本	
インクジェットプリンター	1位
プロジェクター	1位
水晶デバイス	1位

米国	
インクジェットプリンター	1位
プロジェクター	1位
水晶デバイス	1位

* 2025年の特許登録件数ランキング(エプソン調べ)
(2025/1/1~12/31)

● 独自のコア技術を生かした ピエゾ式プリントヘッド関係特許保有数

3,671件



主力のプリンティング領域において、そのコアデバイスであるピエゾ式プリントヘッド関連特許の保有数は業界トップであり、この知財力によって他社の追従を許さない、圧倒的な優位性を築いています。

* 2025年6月6日現在、エプソン調べ。

* 出願日2005年6月6日以降の日本、米国、中国、欧州登録特許件数



2050年に「カーボンマイナス」と「地下資源*1消費ゼロ」を達成し、 持続可能でこころ豊かな社会を実現する

*1 原油、金属などの枯渇性資源

達成目標

- 2030年：1.5℃シナリオ*2に沿った総排出量削減
- 2050年：「カーボンマイナス」、「地下資源*1消費ゼロ」

アクション

- 商品・サービスやサプライチェーンにおける環境負荷の低減
- オープンで独創的なイノベーションによる循環型経済の牽引と産業構造の革新
- 国際的な環境保全活動への貢献

*1 原油、金属などの枯渇性資源

*2 SBTイニシアチブ(Science Based Targets initiative)のクライテリアに基づく科学的な知見と整合した温室効果ガスの削減目標

EPSON

エプソンコーポレートサイト
<https://corporate.epson>



エプソン製品(日本)サイト
<https://www.epson.jp/>



エプソン公式Facebookページ
<https://www.facebook.com/EpsonJP>



エプソン公式動画チャンネル
<https://www.youtube.com/user/epsoncorpjp>



採用情報
<https://corporate.epson/ja/careers/>

